2019年9月期
決算説明会

2019年12月12日

株式会社丸山製作所
代表取締役社長　尾頭　正伸

MARUYAMA MFG.CO.,INC.

目　次

◆会社概要　P. 2

◆2019年9月期　業績概要　P. 7

◆中期経営計画の振り返り　P. 12

◆第７次中期経営計画　P. 16

◆2020年9月期　業績予想　P. 25

◆参考資料　P. 30

財務諸表、会社概要 等

会 社 概 要

MARUYAMA MFG. CO., INC.

当社の事業内容

農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。
丸山独自のポンプを使用した防除機は、
変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、
多種多様な製品を製造・販売しております。
また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェンソーなども扱っています。

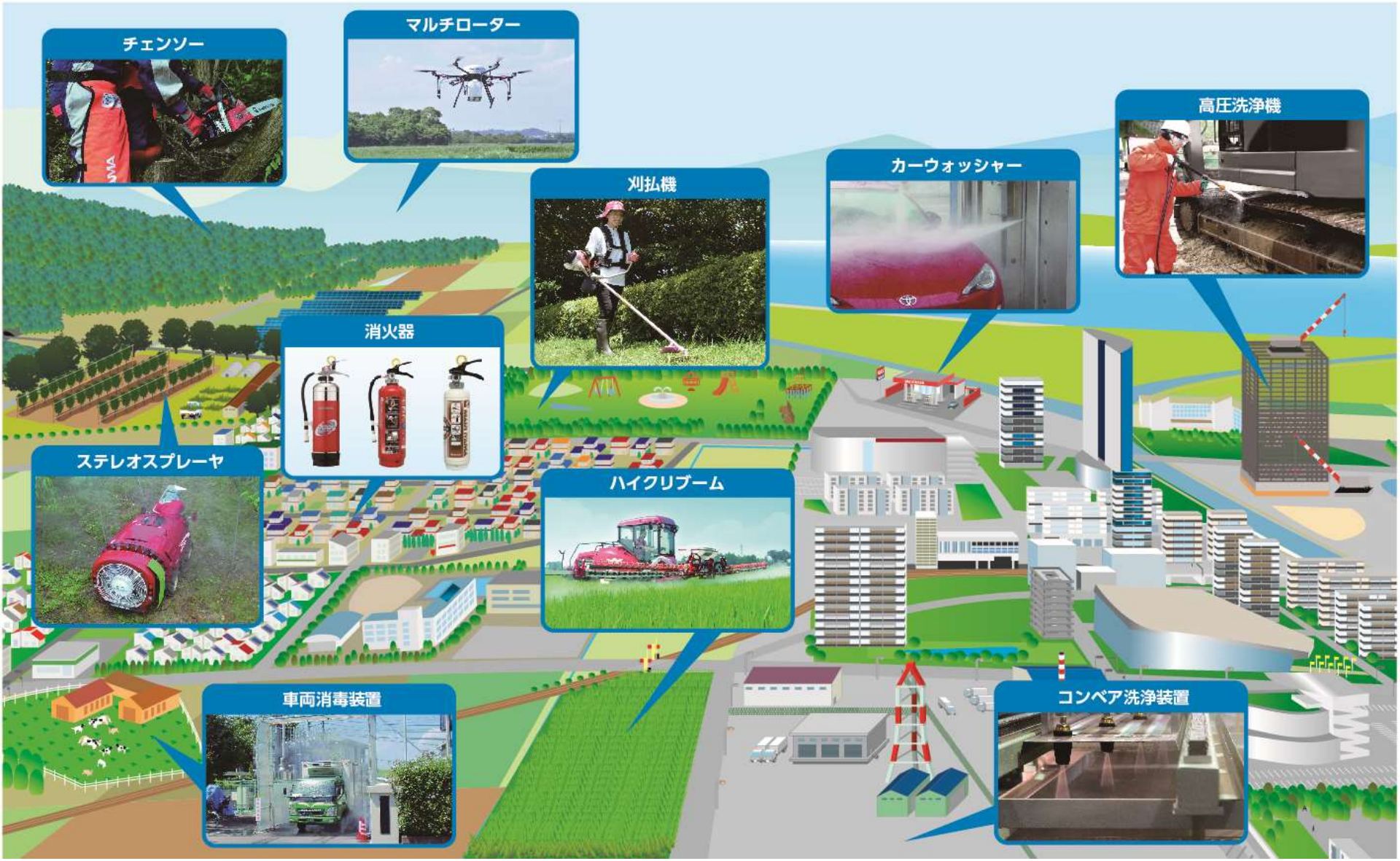
産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。
高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる
産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。
また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で
「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、
技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品


チェンソー
マルチローター
刈払機
カーウォッシャー
高圧洗浄機
消火器
ステレオスプレーヤ
ハイクリブーム
車両消毒装置
コンベア洗浄装置

当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。

ポンプ　＆　エンジン

当社の強み（製品）

当社の製品は様々な分野でトップシェアを獲得しています

ポンプ製品の農業用防除機で
国内トップシェア

海外（北米）でのカーウォッシュ用ポンプでトップシェア

エンジン製品の刈払機でホームセンター流通において
国内トップシェア

2019年9月期　業績概要
（2018年10月1日～2019年9月30日）

MARUYAMA MFG. CO., INC.

2019年9月期　業績概要

単位：百万円	2018年9月期 実績		2019年9月期					
			当初予想		実績			
	金額	売上高構成比	金額	売上高構成比	金額	売上高構成比	前期比	予想比
売上高	35,458	100.0%	37,000	100%	36,177	100%	2.0%	△2.2%
営業利益	1,120	3.2%	1,200	3.2%	434	1.2%	△61.2%	△63.8%
経常利益	1,105	3.1%	1,100	3.0%	399	1.1%	△63.9%	△63.7%
当期純利益	679	1.9%	700	1.9%	301	0.8%	△55.6%	△56.9%
為替レート　米ドル			110円		109円			
為替レート　ユーロ			125円		122円			

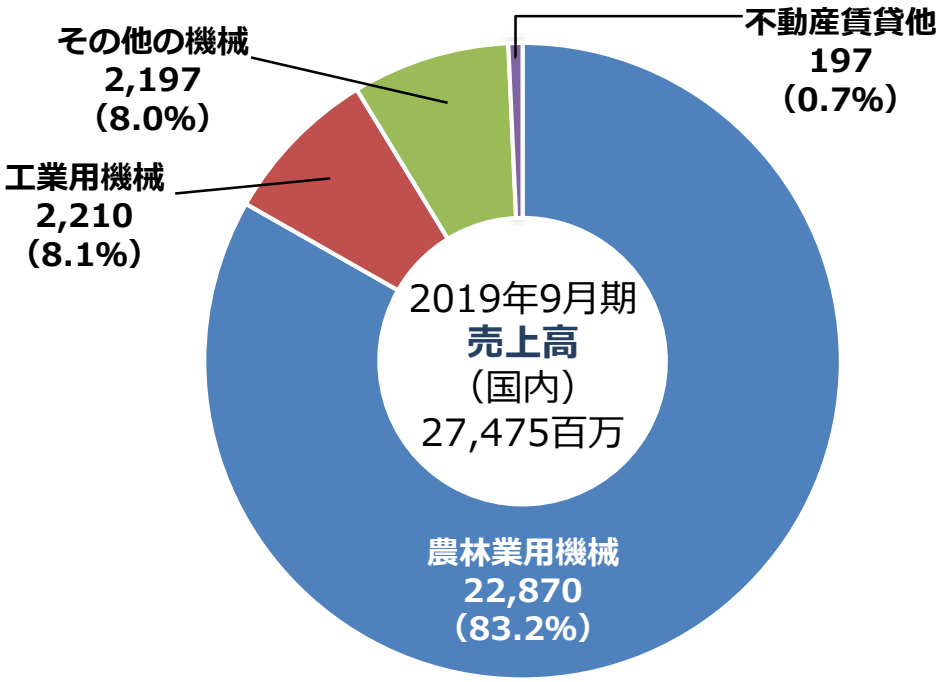
セグメント別業績概要

前期比2.0%増の売上高となるも、
直材費のコストアップや製造経費の増加による原価率の上昇、物流費の増加などにより営業利益は前期比61.2%減。

単位：百万円	2018年9月期			2019年9月期				
	売上高	売上高構成比	営業利益	売上高	売上高構成比	営業利益	営業利益構成比	変動要因
農林業用機械	26,693	75.3%	917	27,291	75.4%	501	24.9%	国内：林業機械の増加 海外：高性能防除機の増加
工業用機械	6,313	17.8%	1,302	6,488	17.9%	**1,119**	**55.7%**	国内：工業用ポンプの減少 海外：工業用ポンプの増加
その他の機械	2,252	6.4%	147	2,200	6.1%	96	4.8%	
不動産賃貸他	513	1.4%	294	507	1.4%	293	14.6%	
調整額(セグメント間取引)	△313	△0.9%	△1,541	△309	△0.8%	△1,576	-	
合計 (うち海外)	35,458 (8,464)	100.0% (23.9)	1,120	36,177 (8,701)	100.0% (24.1)	434	-	

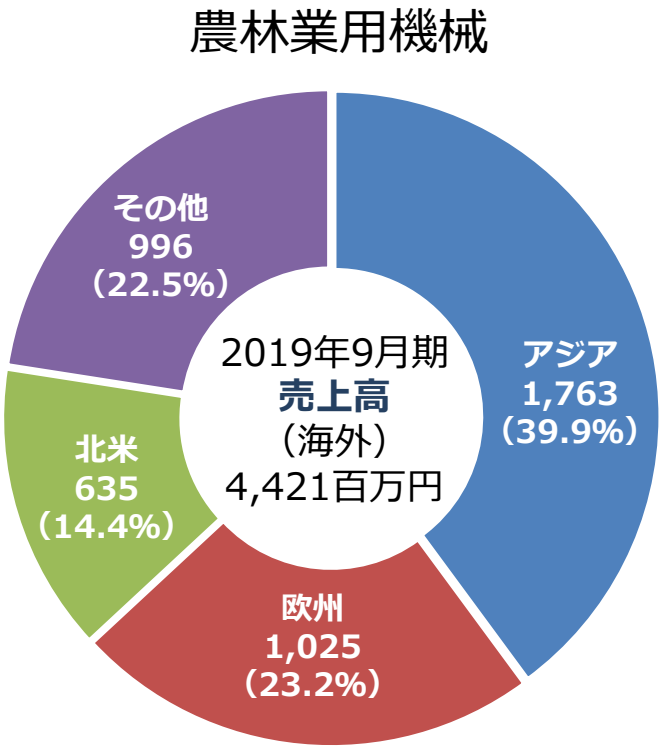
セグメント別売上高（国内）

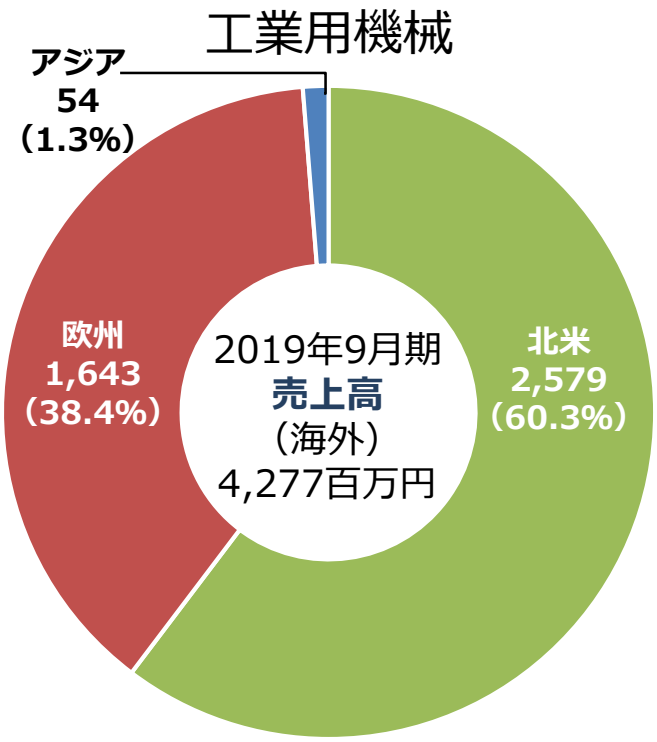
単位：百万円	2018年9月期		2019年9月期		
	売上高	売上高構成比	売上高	売上高構成比	前期比
農林業用機械	22,257	82.5%	22,870	83.2%	2.8%
工業用機械	2,284	8.5%	2,210	8.1%	△3.2%
その他の機械	2,251	8.3%	2,197	8.0%	△2.4%
不動産賃貸他	199	0.7%	197	0.7%	△0.7%



セグメント別売上高（海外）

単位：百万円	2018年9月期		2019年9月期		
	売上高	売上高構成比	売上高	売上高構成比	前期比
農林業用機械	4,435	52.4%	4,421	50.8%	△0.3%
工業用機械	4,028	47.6%	4,277	49.2%	6.2%





中期経営計画の振り返り
（2017年9月期～2019年9月期）

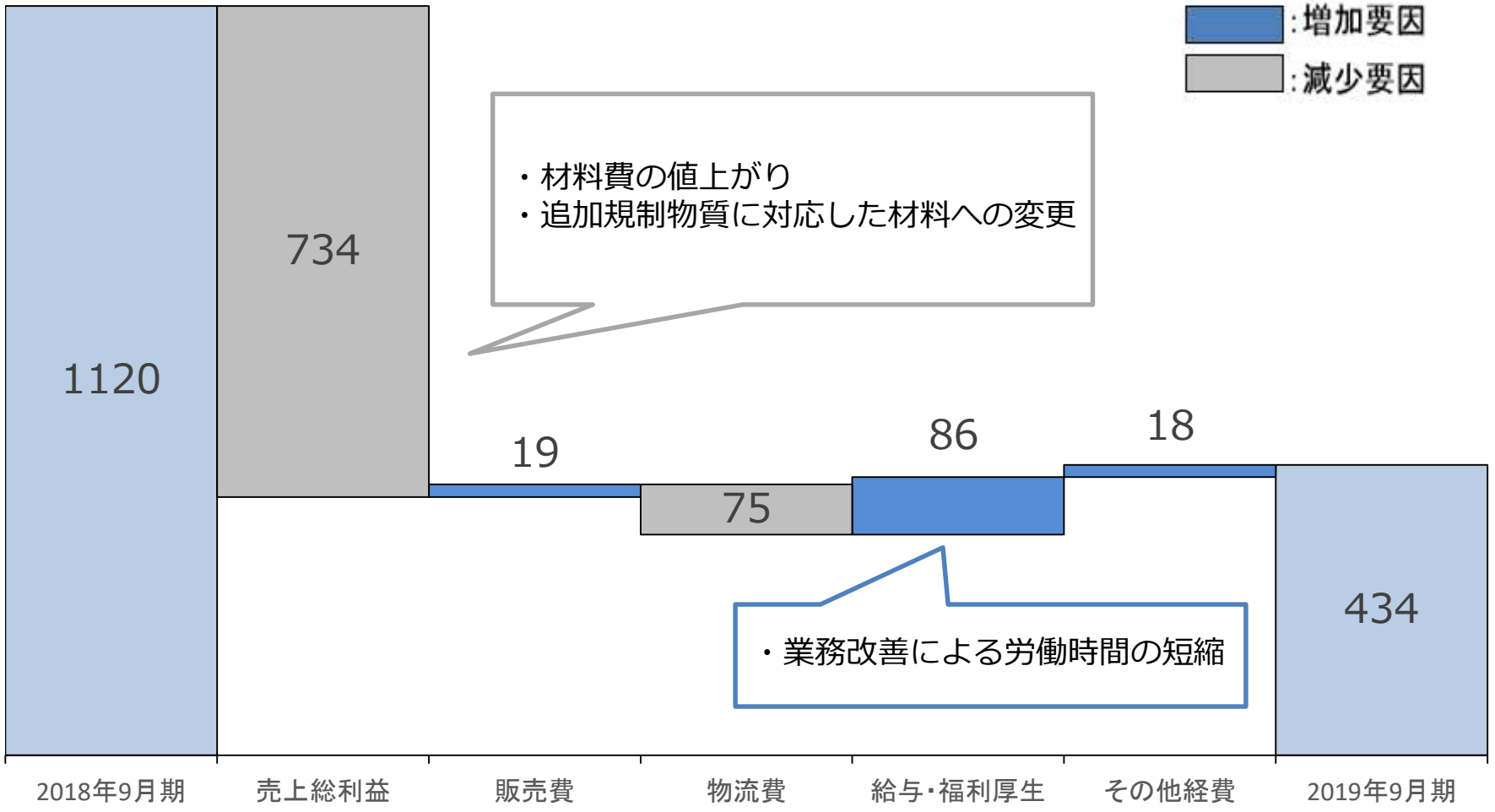
中期経営計画17-19の振り返り（定量面）

単位：百万円	中計17-19 目標値	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	達成率 （2019年度 対目標値）
売上高	37,000	35,508	35,458	36,177	△2.2%
営業利益	1,200	973	1,120	434	△63.8%
ROE	6%	5.1%	4.3%	1.9%	-

過去最高の売上高をマークするも、
直材費のコストアップや製造経費の増加による原価率の上昇、
売上の増加に伴う物流費の増加などにより、
目標の達成には至らず課題を残す結果となる。

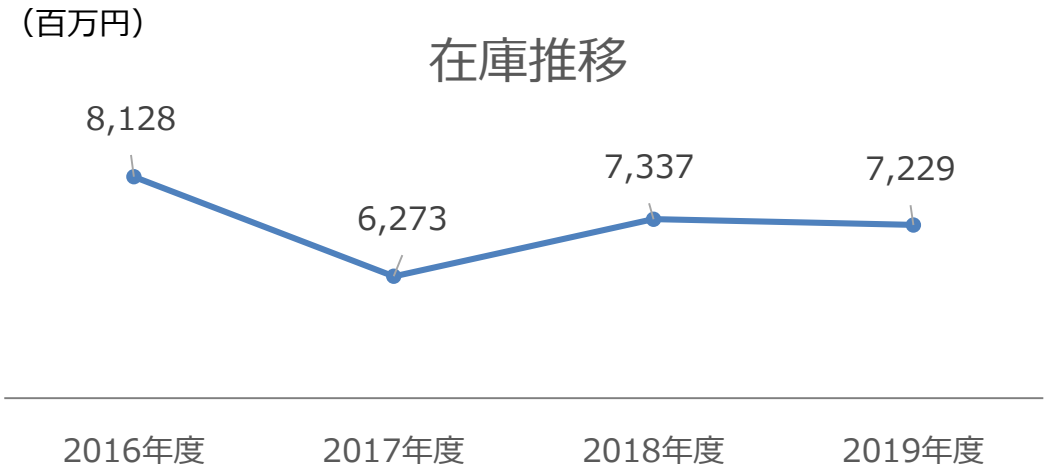
2019年9月期　増減分析（営業利益）

（百万円）



中期経営計画17-19の振り返り（定性面）

基本戦略	主な成果	課題
[基本戦略①] 財務体質の強化	・在庫の削減 ・購買力の強化	・リードタイム短縮 ・部品を含めた在庫削減
[基本戦略②] 成長事業の創出	・大規模農家のニーズに対応した自走式ブームスプレーヤの開発 ・猛暑時の屋内外での活用が期待される細霧冷房装置を開発	・スマート農業に対応した製品の開発 ・新しいアプリケーションを活用した工業用製品の開発



第７次中期経営計画
（2020年9月期～2022年9月期）

MARUYAMA MFG. CO., INC.

事業を取り巻く環境

事業へ影響を与える主な環境変化

マクロ環境

- 国内：少子高齢化
- 海外：水不足・食料問題

ビジネス環境

- 国内：農家人口の減少
- 海外：新興国の発展

市場環境

- 国内：スマート農業の登場
- 海外：高性能機械の需要高
- 国内外：環境ニーズの高まり

機会

【国内】
- 担い手集約･大規模化による大型機械事業の促進
- スマート農業をキーワードにしたロボット技術やICTを活用した製品の販売

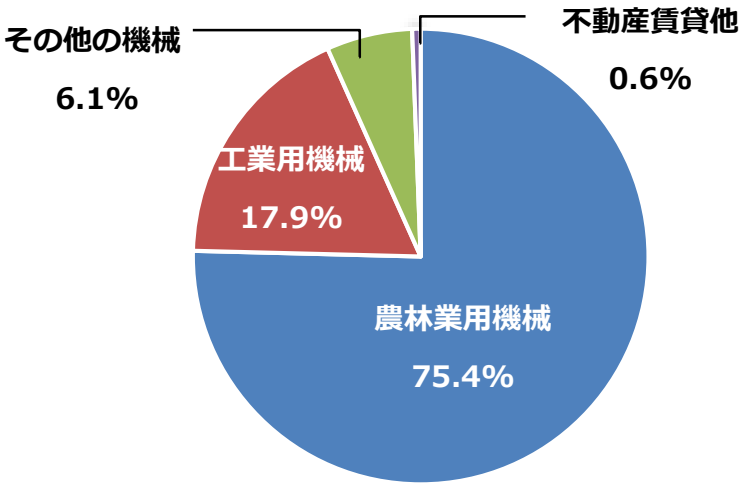
【海外】
- 農業の機械化が進むアジア市場の開拓
- 工業用機械部門で新製品の投入

基本コンセプト

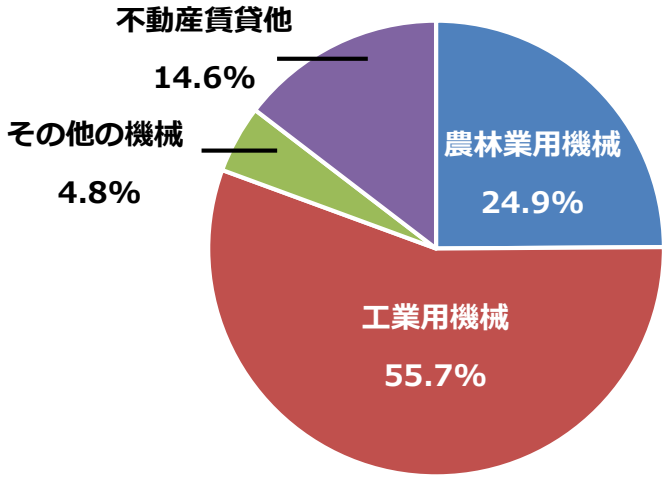
持続的成長を成し遂げる

基本戦略	方針
[基本戦略①] 収益の改善	・品質対策 ・財務体質の強化
[基本戦略②] 成長事業の創出	・産機・海外事業の成長 ・スマート農業進出

売上高比率

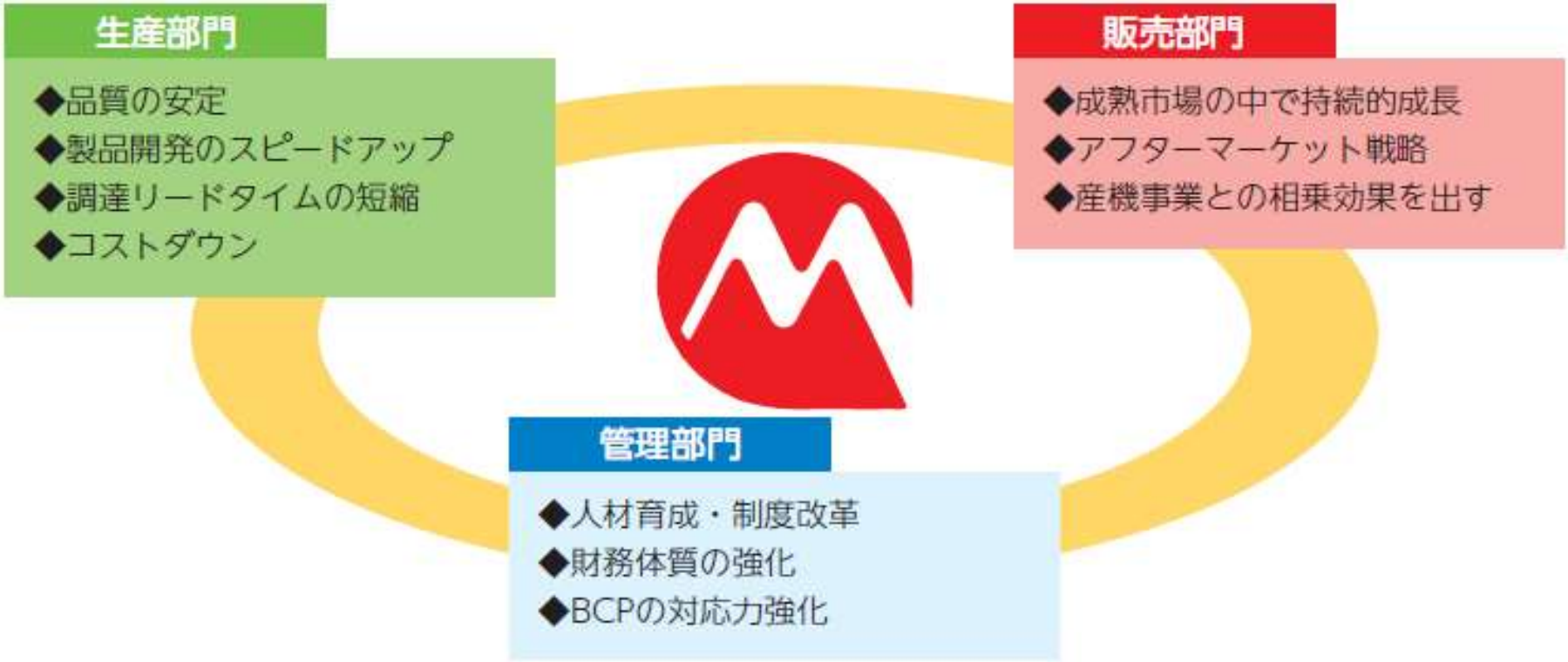


営業利益比率



1 .収益の改善

持続的成長を成し遂げる



2 .成長事業の創出

持続的成長を成し遂げる

産機事業を伸ばす

◆UFB製品をはじめとした製品戦略の強化
◆付加価値の高い完成品を販売

海外事業を伸ばす

◆現地のニーズに適した製品を開発
◆販売チャネルの構築

スマート農業への進出

◆大型機械、ドローン、バッテリ製品の研究開発、品揃え強化
◆ソフト、システム、サービス技能の習得
◆異業種企業との提携・連携

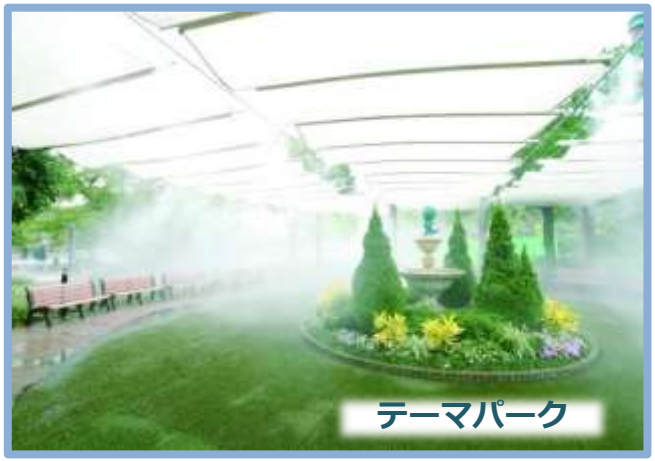
サービス事業を伸ばす

◆アフターマーケットの拡大
◆市場、需要の変化に敏感に対応
◆サービス組織の充実
◆エンドユーザー情報の把握

2 .成長事業の創出　– 産機事業を伸ばす-

神奈川県川崎市　学校法人丸山学園丸山幼稚園様

健康・環境配慮
丸山ポンプテクノロジー



2 .成長事業の創出　–産機事業を伸ばす UFBの活用-

ウルトラファインバブルとは・・・
1μm以下の微小な泡。

- 抜群の洗浄能力
  ① 洗剤なしでも洗濯ができる
  ② 細菌・ウイルス・悪臭を破壊
- 生理活性効果
  ①　植物や養殖魚の生育を促進

洗浄

・トイレの尿石が取れた。
・臭いが減った。
・除塩作業の効率が良くなった。

水産業

・養殖魚が短期間で大きくなった。
・鮮度が長く保たれるようになった。

農業

・野菜のハリ、ツヤが良くなった。
・果物の収穫量が増え甘さも増した。

ファインバブル活用事例集を基に当社作成： https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble_ver4.pdf

2 .成長事業の創出　– スマート農業-

車両情報を衛星により把握し、圃場内において高精度な自動操舵を実現。

最終年度業績予想（2022年9月期）

単位：百万円	2019年9月期 実　績		2022年9月期 予　想		
	金額	売上高構成比	金額	売上高構成比	2019年比
売上高	36,177	100.0%	38,000	100%	5%
営業利益	434	1.2%	1,200	3.2%	176%
経常利益	399	1.1%	1,100	2.9%	176%
当期純利益	301	0.8%	750	2.0%	149%

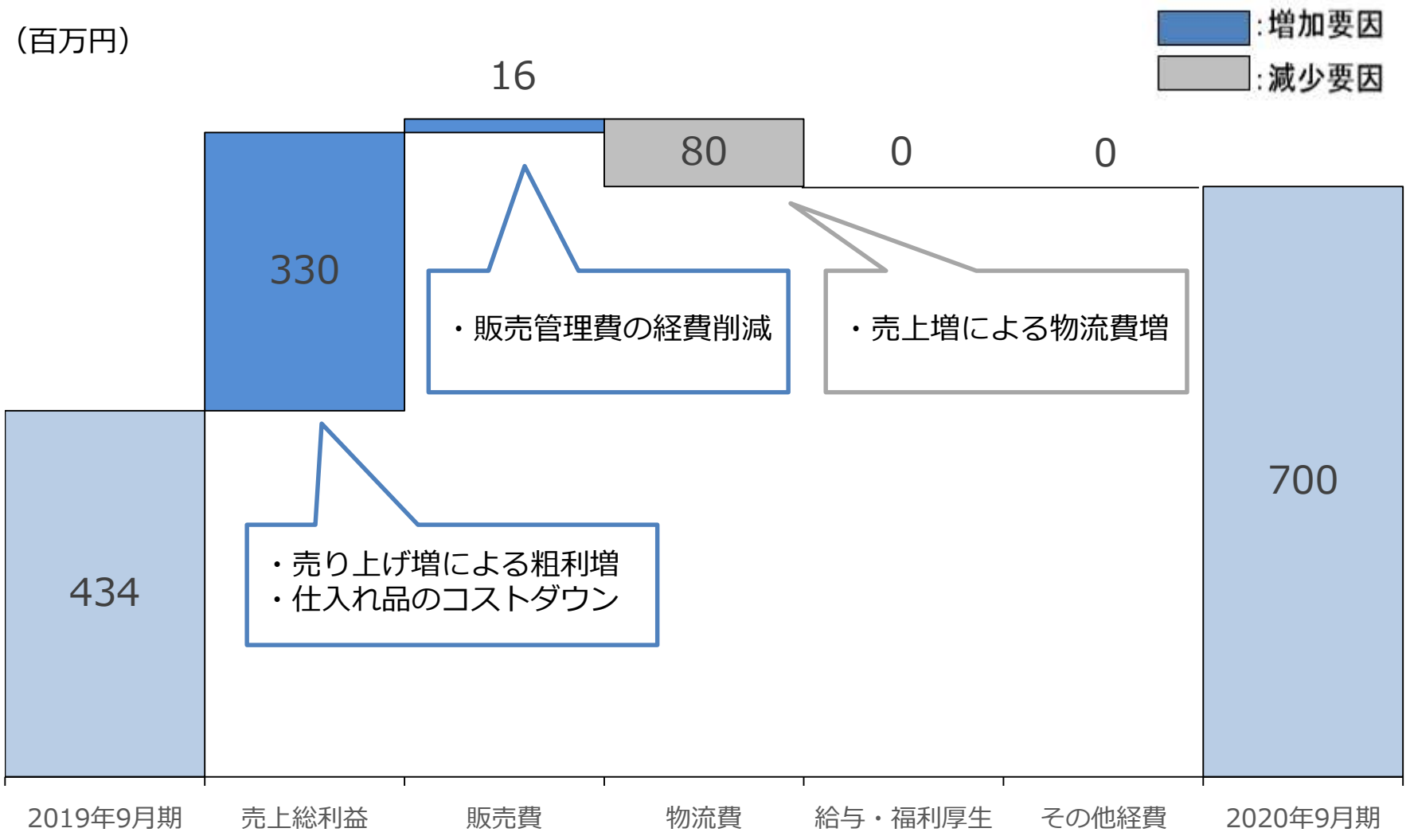
2020年9月期　業績予想
（2019年10月1日～2020年9月30日）

MARUYAMA MFG. CO., INC.

2020年9月期　業績予想

単位：百万円	2019年9月期 実　績		2020年9月期 予　想		
	金額	売上高構成比	金額	売上高構成比	前期比
売上高	36,177	100%	37,000	100%	2.3%
営業利益	434	1.2%	700	1.9%	61.1%
経常利益	399	1.1%	600	1.6%	50.3%
当期純利益	301	0.8%	400	1.1%	32.7%
為替レート　米ドル	109円		105円		
為替レート　ユーロ	122円		120円		

2020年9月期　増減分析予想（営業利益）

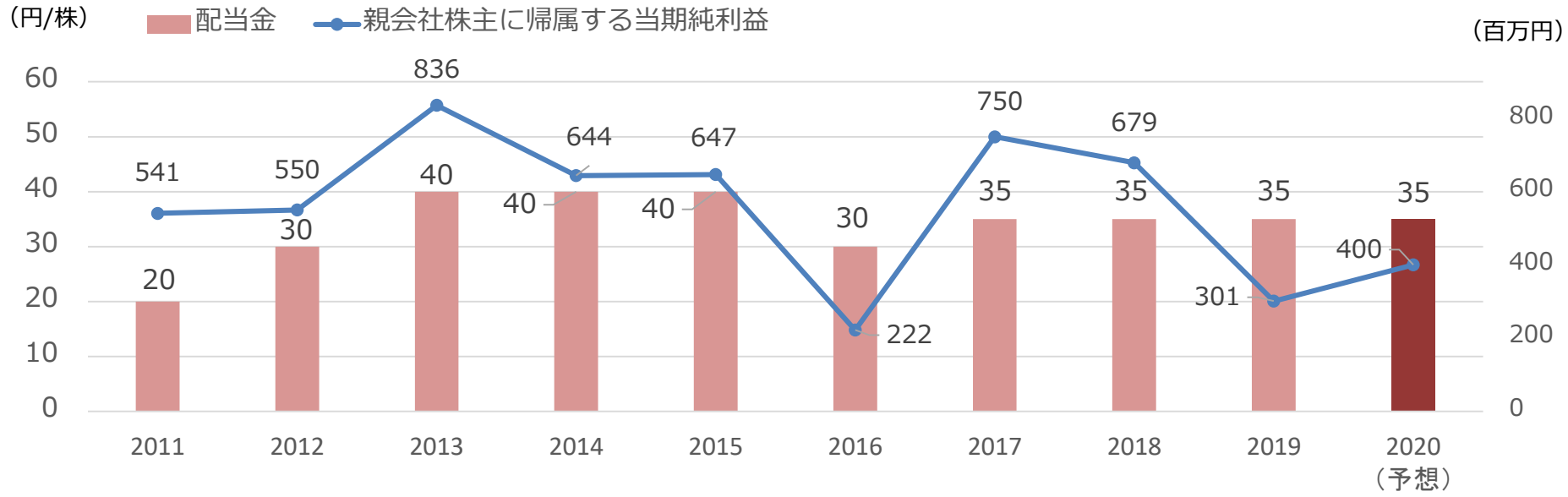


2020年9月期　セグメント別業績予想

単位：百万円	2019年9月期 実　績			2020年9月期 予　想		
	売上高	売上高構成比	営業利益	売上高	売上高構成比	営業利益
農林業用機械	27,291	75.4%	501	27,800	75.1%	600
工業用機械	6,488	17.9%	1,119	6,800	18.4%	1,250
その他の機械	2,200	6.1%	96	2,200	5.9%	100
不動産賃貸他	507	1.4%	293	500	1.4%	300
調整額(セグメント間取引)	△309	△0.8%	△1,576	△300	△0.8%	△1,550
合計	36,177	100.0%	434	37,000	100.0%	700

株主還元

- **安定的な配当を継続することを基本として、将来の事業展開に必要な内部留保ならびに業績見込みなどを勘案することを方針としております。**
- **来期の配当予想額は当期と同じ1株につき35円**



	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
配当性向	18.4%	27.0%	23.6%	30.5%	30.3%	66.1%	22.9%	25.1%	56.1%	41.6%

※2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、
1株あたりの配当金については2010年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

参　考　資　料

MARUYAMA MFG. CO., INC.

貸借対照表

・電子記録債権および債務の体制強化により、流動比率が向上（前期比1.4%）

単位：百万円	2018年9月期末		2019年9月期末		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	33,858	100.0%	32,894	100%	△963	
流動資産	21,141	62.4%	21,185	64.4%	43	電子記録債権の増加
固定資産	12,716	37.6%	11,709	35.6%	△1,006	減価償却の進行などによる建物及び構築物の減少、投資有価証券の減少
流動負債	11,462	33.8%	11,399	34.7%	△63	電子記録債務の減少 １年内返済予定の長期借入金の減少
固定負債	6,397	18.9%	5,999	18.2%	△397	長期借入金の減少
純資産	15,998	47.3%	15,495	47.1%	△502	期末日にかけての時価の下落による その他有価証券評価差額金の減少

	2018年9月期末	2019年9月期末
自己資本比率	47.3%	47.1%
流動比率	184.4%	185.8%

（注）1.「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号　2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度の総資産の金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

キャッシュフロー計算書

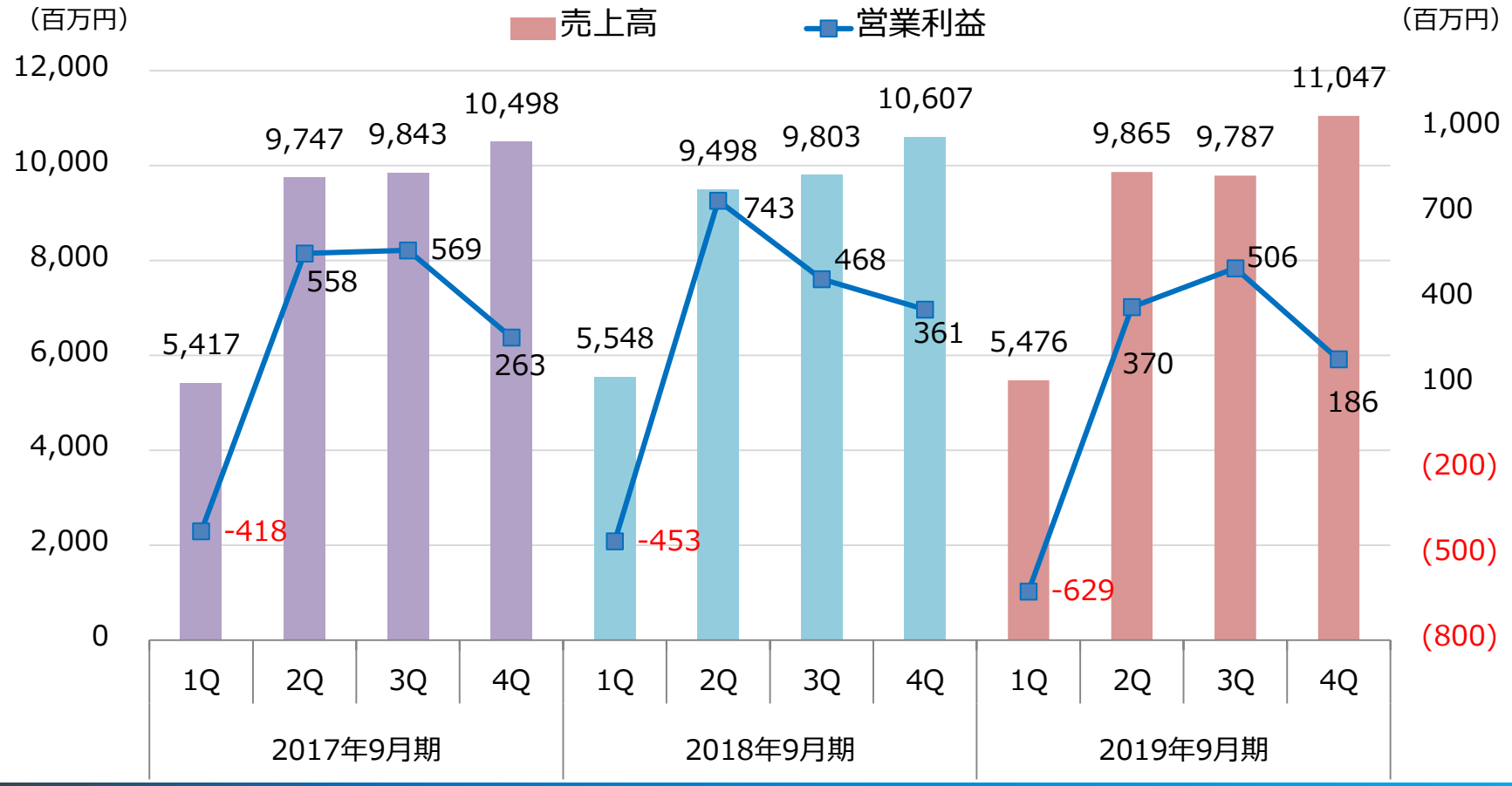
単位：百万円	2018年9月期	2019年9月期	前期比	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	1,881	321	△1,559	売上債権の増加、仕入債務の減少
投資活動によるキャッシュフロー	△1,099	△719	380	有形固定資産の取得による支出の減少
フリーキャッシュフロー	781	△397	△1,179	
財務活動によるキャッシュフロー	△974	215	1,189	短期借入金の増加
現金及び現金同等物期末残高	2,296	2,107	△189	

単位：百万円	2019年9月期	内　容
設　備　投　資	865	営業所の移転に係る土地の取得 千葉工場、製造子会社の生産設備の更新
研　究　開　発　費	1,148	労務費及び試作研究費
減　価　償　却　費	1,238	

売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

売上高は前期並み、営業利益は前期比マイナス

＊国内の農業用機械の需要期が３月から７月であるため、
売上・利益ともに第１四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。



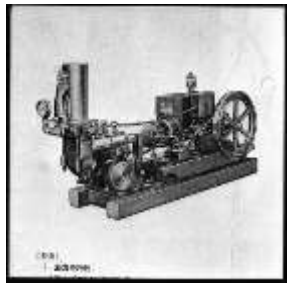
会社概要（2019年9月30日現在）

社　名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長　　尾 頭 正 伸
本　社	〒101-0047　東京都千代田区内神田３丁目４番１５号
創業 ・ 設立	【創業】　1895年　　【設立】　1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	361億77百万円　（2019年9月期）
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上　場	東京証券取引所　市場第一部
従業員数	【単体】　568名　　【連結】　943名
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	http://www.maruyama.co.jp/

沿　革

1895年	新潟県高田町にて丸山商会を創業 （日本で初めて消火器を製造）
1918年	人力噴霧器の製造・販売
1935年	動力噴霧機の製造・販売
1937年	株式会社丸山製作所を設立
1961年	東京証券取引所市場第二部に上場
1967年	工業用ポンプを開発
1977年	東京証券取引所市場第一部に指定
1990年	オリジナル2サイクルエンジン開発
2000年	新環境型2サイクルエンジンを開発 カリフォルニア州排ガス規制クリア
2004年	消火剤リサイクル・・・ eco消火器を販売
2012年	キャビン付ハイクリブームの開発
2016年	マルチローター（ドローン）の開発
2018年	ハイクリブーム発売30周年を迎える
2020年	創業125周年

丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機

工業用ポンプ

２サイクルエンジン

キャビン付ハイクリブーム

国内の販売・生産・サービス拠点

物流拠点（福島）

千葉工場 （東京ドーム３個分の敷地）

西部丸山（岡山）

本　　社 東京都千代田区

生産拠点 3ヶ所
千葉県東金市（2ヶ所）
岡山県苫田郡

営業拠点 全国26ヶ所
北海道(札幌・帯広）/ 青森 /
岩手 / 秋田 / 山形 / 宮城 /
福島 / 茨城 / 栃木 /千葉 /
東京 / 新潟 / 長野 / 山梨 /
石川 / 愛知 / 静岡 / 大阪 /
広島 / 岡山 / 香川 / 福岡 /
熊本 / 鹿児島 / 宮崎

物流拠点 3ヶ所
福島県・千葉県・岡山県

関係会社
日本クライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社

海外の販売・生産拠点

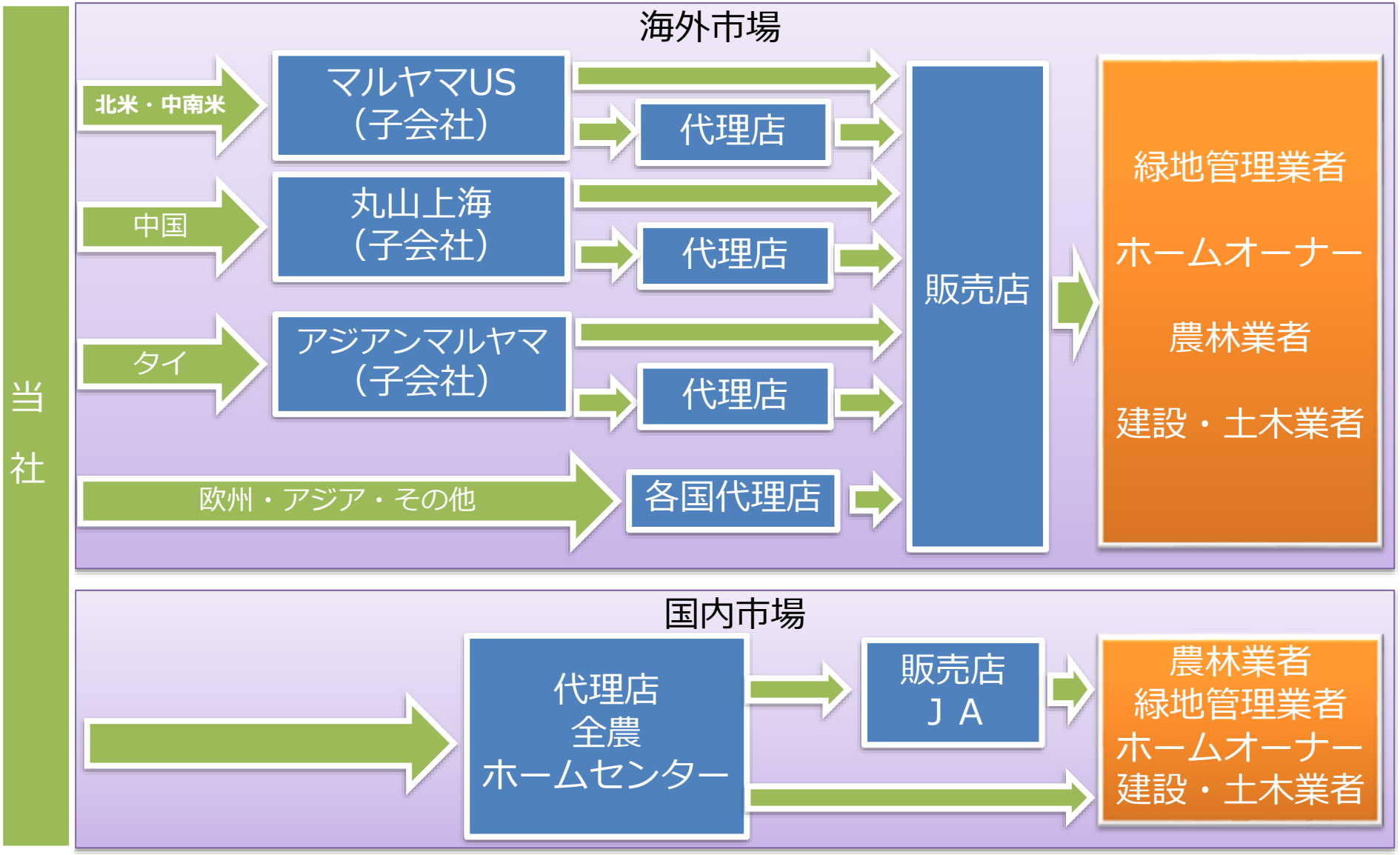
- MARUYAMA MFG EUROPEOFFICE
  - ・欧州における市場調査
  - ・林業用機械の販売促進

- 丸山（上海）貿易有限公司
  - ・中国市場向けに農林業用機械の販売

- MARUYAMA U.S.,INC.
  - ・北米を中心に農林業用機械を販売

- MARUYAMA MFG（THAILAND）CO.,LTD.
- ASIAN MARUYAMA(THAILAND)CO.,LTD.
  - ・農林業用機械の製造・販売
  - ・東南アジア市場向けを中心に販売

主な販売経路


当社
海外市場
北米・中南米
マルヤマUS（子会社）
代理店
中国
丸山上海（子会社）
代理店
タイ
アジアンマルヤマ（子会社）
代理店
欧州・アジア・その他
各国代理店
販売店
緑地管理業者
ホームオーナー
農林業者
建設・土木業者
国内市場
代理店
全農
ホームセンター
販売店
ＪＡ
農林業者
緑地管理業者
ホームオーナー
建設・土木業者

ポンプを使用した工業用製品

スパウターによる消臭作業

テーマパークで使用されるミスト

高圧洗浄機

温度管理ミスト

カーウォッシャー

災害時緊急給水RO

ポンプを使用した農業用製品

北京オリンピックでの消毒作業

牛舎での消毒作業

背負動力噴霧機

【畑・ビニールハウス】

ステレオスプレーヤ

【果樹園】

ハイクリブーム

【田・畑】

マルチローター

【中山間地】

エンジンを使用した製品

刈払機

【庭　園】

ブロワー

【公　園】

ヘッジトリマー

【庭　園】

チェンソー

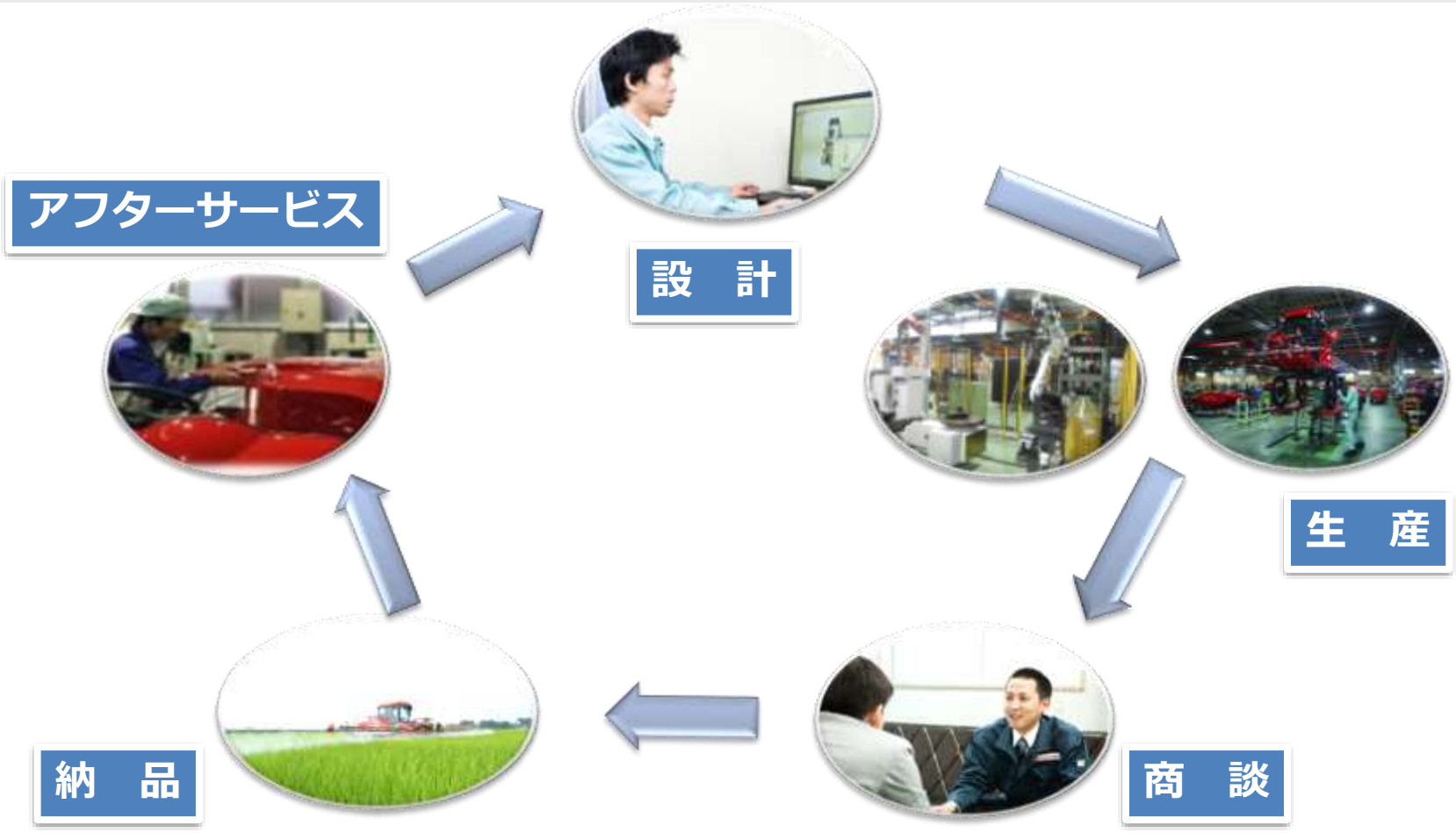
【山　林】

背負動力噴霧機

【畑】

当社の強み（生産体制）

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております



当社製品に対する評価

中国市場向けの当社製品である
ハイクリブームが市場の評価を受け、
中国にて２つの賞を受賞いたしました。

第七回精耕杯

中国市場の評価を得て、中国に100社以上ある防除機メーカーの中から「ユーザーが最も信頼する防除機ブランド10 社」に選ばれました。

高効施薬新設備貢献賞

中国の防除機メーカー市場の評価を考慮し、特に優秀で高効率な防除製品に対し表彰される「年度高効施薬新設備貢献賞」を受賞しました。

農業活性化への取組み

- 農業女子と企業を結びつけることで農業の活性化を図る農林水産省主催「農業女子プロジェクト」に2013年から参画
- L（レディース）プロジェクトが中心となり、女性目線での女性のための製品の開発を推進し、他社とも共同し製品化を目指す

女子目線でバッテリー噴霧機を共同開発
-農業女子PJコラボ第二弾-

千代田区で開催された「丸の内農園」に出展

株式会社丸山製作所

本日はありがとうございました

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【ＩＲに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047　東京都千代田区内神田3-4-15
TEL：03-3252-2271
E-mail：ir-contact@maruyama.co.jp